



2022

岡山の高校図書館プレゼンツ

# これBOOKS

# 司書 オススメコメント



## 大賞



### 『世界でいちばん幸せな男』

エディ・ジェイク 著 / 金原 瑞人 訳  
河出書房新社

#### 訳者からのメッセージ

悲惨な体験が持つ重みと同時に、エディさんが困難の中を生き抜いてきた力強さ、ポジティブなメッセージが伝わってきました。／著者が尊厳を失わず、知識と技術をフル回転させて生き抜く姿が素晴らしい。一方で、戦争になると人間は簡単に残酷なことができるようになってしまうことを、この本で知っておくべきだと思います。

著者のエディ・ジェイクさんは、驚くほど強靱な精神力の持ち主でした。地獄のようなアウシュヴィッツから生還した後、肉体を病み、過酷な体験の記憶にさいなまれるものの、幸せに生きてやろうと決意するのですから。そんなことは超人にしかできないし、とても真似はできないと、ぼくは思います。しかし彼がこの本を残してくれたということには心から感謝しています。去年、エディさんは亡くなりましたが、本は生きています。どうぞ、手に取ってみてください。エディさんが新しい友人になるかもしれません。  
(金原 瑞人)

## 2位

### 『親の期待に応えなくていい』

鴻上 尚史 / 小学館

親から自立することが最高の親孝行なのかもしれません。今まさに自立の道を模索している高校生にぜひ読んで欲しい。自分の人生を決めているのは自分だけ！／親とのやりとりでもややとした気持ちにならなれるべく早くこの本を読んでみてほしいと思いました。たとえそれが些細な違和感だったとしても！親だけでなく周囲の人との関わりに悩んでいる人にもおすすめです。



## 3位

### 『あの夏の正解』

早見 和真 / 新潮社

2020年夏を経験した高校生に読んでもらいたい本です。野球に詳しくないけれど引き込まれました。／コロナの影響を受けて、高校生の学校生活は一変した。話し合っ、考えて、悩んで、悔しく涙して…。同じ部活じゃなくても、2020年を生き抜いた高校生に共感できる部分が多くあるはず。



### 『家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった』

岸田 奈美 / 小学館

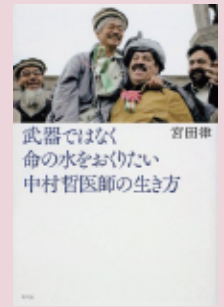
人に喜んでもらいたいと思いきることで、結果、周りからもたくさんのもので与えられる…。すばらしい生き方をされている家族だと思いました。／本の中に、大切にしたい言葉がいくつも見つかりました。／父親を亡くし母親も病気になるという子供にとって厳しい現実に向かいながらも、明るく強く生きていく家族の愛を感じました。



### 『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』

宮田 律 / 平凡社

命がけで繋いだ中村哲医師の生き様が眩しくてこれからももっと活躍の様子を見ていたかったです。／コロナで世界のことまで考える余裕がなくなっている時だからこそ読んで欲しいです。／中村哲氏の寛大な心が伝わってきました。世界情勢わかりやすいです。



### 『ダチョウはアホだが役に立つ』

塚本 康浩 / 幻冬舎

著者のダチョウ愛が関西弁ですいすい頭に入ってくる。著者の異色の経歴がこれから進路を考える高校生に良い刺激になりそう。／好きなことをとことんやればいいんです。それが人の役に立つ時が来たら、活かしてください。／コロナ禍にタイムリーな研究なので、勉強になります。鳥が好きという純粋な気持ちが著者の原動力になっていて、それをビジネスに結び付けたところがダチョウ博士のすごいところです。



### 『標本バカ』

川田 伸一郎 / ブックマン社

岡山出身の川田さん。標本づくり・動物研究の第一人者が郷土から出ていることを誇りに思います。貴重な研究がエッセイとして面白く綴られており、挿絵も大変素晴らしいのでぜひ高校生みなさんに読んでほしいと思いました。／何か一つのことに夢中になれるのは誰しもが出来るわけではない。／地味に見えるかもしれない世界だが奥深く楽しいです。

